

○議長（中西峰雄君） 日程に従い順番14、16番 中谷晋君。

〔16番（中谷 晋君）登壇〕

○16番（中谷 晋君） ちょっと疲労の状態であると思いますけれども、暫時の時間をいただきたいと思います。

医療業務についてでございますが、本件につきましては、昨日の21番議員の議論の中から十分の説明があったと拝受いたしておりますので、改革の認識が得られたと、自分では思っておりますので、よって簡潔に基本的な考え方や方向性をお願いしたいと思います。

今、日本という国が破綻しかかっています。政府は、世界、特にアジア地域において最低の評価しかされていないと思っております。円安、ドル高かつ株安で、日本経済は最低の水準値にあり、企業経営の将来は非常に不安定、ゆえに日本売りが行われ、国力が脆弱化して各界各層の組織が立ちいかなくなっていると思っております。

先の小泉改革の中で、経済市場主義の行き過ぎの政策の過ちとその後の政権交代により、十分な検証の議論がない現在の政府の大きな負の課題であろうかと思っております。

組織体の弱体化や維持に困窮する中小企業や商店、小売店など、また私たちの議員年金や地方自治体病院など、その最たるものであると思っております。

医師不足と診療報酬の悪化で、医療過疎とも言われる地域医療の危機が全国津々浦々で進行し、その公共性を投げ捨て、民間化が進んでいると聞いています。

病院の経営状況や今後の見通しなどについてはまたの機会といたしまして、今回お尋ね

する内容は、事務所へ行ってお聞きすれば理解できると思っておりますが、私に疑義の声をかけていただいた人の住所も氏名も不明であるため、今回この場をお借りしてお尋ねするものであります。ご理解をいただきたいと思っております。

1点目は、予約制と受付についてですが、予約制度そのものは大変いい制度だと思っております。しかし、診察内容にもよると思うのですが、患者さんたちは朝の8時30分の受付開始にできるだけ早い順番を確保したいがために、開けてくれる扉の前へ早い時間帯から立って並んで待機をするということ、少し脆弱な人や高齢の人らの少々きついそうであります。

このような状況について、病院側は把握できているのか。また、その状況が理解できれば、何らかの対応を考えていただけるのかお尋ねをいたすものであります。

2点目ですが、診療の予約時間についてですが、患者さんの個々の状態にもよりますが、偏ったところで非常に長い待ち表示がなされています。例えば、1時間とか1時間30分とか、このような状況では、予約制の意味が薄れないか。診療科内での調整と何らかの対応ができないのかお尋ねをいたします。

2点目の件でございますが、先ほど同僚議員が質問する中で、若干忘却をいたしていた点がありますので、その点はおわびをいたします。

8番議員の議論を拝受いたしまして、質問の中身を大野名倉間に主眼にお答えをいただいたらありがたいなと思っております。

旧高野口町で大野名倉及び名古屋伏原間の

間で国道24号とJR間の地域を活性化するという趣旨で、重要な交通アクセスとして西の島伏原線が都市計画決定されていました。先の市町村合併に伴う協議の中で、政策としてこの重要性は十分話し合われていると思考しますが、当時の担当部課長の人たちが卒業や異動などされていますので、詳細なところまでは結構ですので、その時点の話し合いが、今、市の道路計画の中でどのような位置づけとなっているのか、当時からのかわりが深くある副市長を中心に、簡潔にお答え願えれば結構でございます。

続きまして、2項目めについてお聞きします。

狭い道路では、日常生活の通行をはじめ、災害時の消防・救急活動などに支障を来しますが、予想されます。

また、近年では、福祉・介護にも車が使用され、不便を強いられているところが、全国的に大変多く、各自治体が鋭意取り組んでいるところであると聞いております。

本市においても、住宅密集地域にはそれなりの狭い道路があります。これらを全部、一定の規格の道路に整備しようというほうが到底無理な話でありまして、そのような議論はいたしません、防災的な面から一定の対策が必要ではないかと思っております。

例えば、そのような地域をいくつかの小さな区割りを行い、そこへ最低幅員4m級の1本の道路を入れ、地域の安全を図る狭隘道路拡幅整備補助事業などの政策が考えられないか、簡潔にお願いします。

以上をもちまして、1回目の質問を終わります。

○議長（中西峰雄君）16番 中谷晋君の一般質問に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（松浦広之君）登壇〕

○建設部長（松浦広之君）インフラ整備の基本的な考え方のご質問にお答えします。

はじめに、都市計画道路西の島伏原線のご質問についてですが、旧橋本市、旧高野口町の合併にあたり、都市計画道路関係に関して、合併協議で協議・調整が行われましたが、基本的には旧橋本市、旧高野口町で都市計画決定された都市計画道路はすべて新市に引き継ぐことで調整され、現在に至っています。

なお、合併時施工中であった路線については個別に調整が行われましたが、未着手路線については特に協議は行っていません。

議員おただしの西の島伏原線につきましても、新市に引き継がれていますが、長期未着手路線であるため、今回見直しの対象となっています。

次に、狭隘道路の計画的整備についてですが、平成21年度現在、本市が管理している市道の路線数は2,128路線、総延長699.8kmです。そのうち、4m未満の幅員を含む路線は935路線、その延長は453.7kmであります。

これらすべてを改良するとなれば、仮に事業用地の無償寄附協力が得られたといたしましても、その事業費は膨大な額となります。

現在、各地区から拡幅・改良工事要望を25路線いただいておりますが、緊急を要する路線、また事業用地の協力が得られた箇所から順次施工してまいりまして、このうち、本年度は9路線を継続で施工する予定をしています。

今後、他の要望箇所につきましても、できる限り早期に対応すべく努力してまいります。限られた予算の中での整備となりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

○議長（中西峰雄君）病院事務局長。

〔病院事務局長（尾崎慶和君）登壇〕

○病院事務局長（尾崎慶和君）市民病院診療業務についてのご質問にお答えいたします。

まずは、予約制と受付についてのおただし

についてでございますが、当院では再診の患者さんについてはすべて予約制としており、次回の予約については、受診時あるいは予約専用ダイヤルにより日時を指定していただくこととなります。

予約患者さんの受診時の受付については、朝一番に来院される方が、受付を開始するまでの間、立ったままでお待ちの方がいるのご指摘を受け、当院で調査いたしましたところ、多い日で約20名の患者さんが受付を待たれておられる中で、1階エントランスホールには40席の座席を用意しておりますが、検査を受ける患者さんが順番を早く取るために、立って待たれる傾向があります。

当院では、従来より患者さんが来院された順番に整列していただくように、警備員よりお願いしていましたが、立って待たれる方が増えたことで、座ってお待ちの患者さんに不安を与える結果となっております。

今後は、患者さんに安心してお待ちいただけるように、事前に整理券を渡すなど、順番がわかるような工夫をしてみたいと考えております。

次に、予約時間についてでございますが、議員ご指摘のとおり、一部の診療科、特に内科の診療において、予約時間よりも相当遅れることがあります。曜日によっては、1時間から1時間半以上待ついただくことがございます。このことにつきましては、一部の医師に患者さんが集中し、予約枠時間内に診察が終了しない状況下であります。

患者さんは、その医師を頼って来院されており、診療を制限することは困難であり、また内科医師不足の中で、診療日数を増やして医師にこれ以上の負担をかけることもできないため、患者さんに大変ご迷惑をおかけしているところでございます。

今後の対策といたしましては、来年より内

科医2名の赴任が決まっており、診療日数の増加が見込まれることから、待ち時間の軽減が図れると考えております。

また、患者さんの待ち時間の苦痛を和らげる対策として、各ブロック前にテレビ等の設置をしていくことも検討しておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

○議長（中西峰雄君）16番 中谷晋君、再質問ありますか。

16番 中谷晋君。

○16番（中谷 晋君）もう再質問せんつもりでおったんだけど、ちょっと建設部長に聞きます。

タイトルが、西の島伏原線になっている。ほんで、8番議員の議論の中で、伊高通りから、和歌山県立伊都高等学校の前のところから西については、もうやらないんだというふうに議論されておったように思いますよ。私が壇上から聞いとるのように、幹線駅前九度山線から西についてどういう対応を考えられているのかなということをお尋ねするので、その辺の見直しの中でどう処理していくのか、その点をお聞きしたいと思います。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）説明不足で申しわけございません。

改めてもう一度ご説明させていただきます。

現在、西の島伏原線という都市計画道路の起点は、都市計画道路名で大野下中線を起点としまして、伏原田原線を終点として、この区間約2,000m区間が西の島伏原線でございます。

先ほど、岡本議員のご質問でいただきました中で、この路線について廃止と申し上げましたのは、ただ今中谷議員もご指摘の高野口エスティ線から西側の太野下中線も含めて廃止という方向で、市ではいきたいというつもりで、答弁をさせていただいておりました。

ということで、ただ今、中谷議員のご質問
でいただいております区間につきましても、路線
名は一つであります。同様の扱いで廃止と
しては廃止という方向で考えてございます。

以上です。

○議長（中西峰雄君）16番 中谷晋君。

○16番（中谷 晋君）ちょっとそれでは、地
域の活性化が図れてないと思う。私は、駅前
縦貫線から東は廃止の方向でいってもやむを
得んと思います。

ただ、西については、地域のこれからの地
力をつけて発展させていこうと思ったら、あ
そこに1本幹線的な道路が絶対必要である
というふうに認識しておりますので、都市計画
道路でなく、ほかの道路計画の中で一般的な
道路施策として対応するのか、そこら辺を見
直しの時点で考慮して、議論していただき
たいと思いますねけど、その点1点だけ願
いします。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）若干合併当時の経
過を、この場をお借りしまして、ちょっと申
上げたいと思います。

まず、旧高野口町時代に、まちづくり交付
金事業でいくつかの工事をする中で、議員お
ただしのこの区間についても、一応計画とし
ては立ち上がっておりました。

ただ、いざ実施するにあたって、現場等詳
細に検討しましたところ、都市計画道路名大
野下中線、現在は、市道名は高野口8号線と
申しますけれども、いわゆる高架になってお
りますので、ここへ物理的にここを起点とし
ての接続ということが無理であること、それ
から、まちづくり交付金事業で5カ年の計画で、
当時4億5,000万円で計画がなされておた
んですけれども、実施にあたって試算しますと
約15億円程度要するというところで、物理的
にも金額的にもまちづくり交付金事業ではとて

も実施できないというところで、まちづくり
交付金事業の計画の中身を変更して、この路
線の施工はあきらめたという経過があるよう
でございます。

それから、先ほどのご答弁に戻るんですけ
ども、都市計画道路としましては、廃止の方
向でいきたいというところで、じゃあこのエ
リアの活性化というところで、新たな道路を
東西に1本どうだというおただしかと思いま
すが、これにつきましては、まずは県のほう
の方針が出まして、市域全体の都市計画道路
の廃止云々を議論する中で、廃止としてもそ
の後どうするかというのは、その時点での改
めた検討になるのかなというふうに考えてお
りますので、どうぞよろしくお願ひします。

○議長（中西峰雄君）16番 中谷晋君。

○16番（中谷 晋君）今、そういう対応でい
くということは認識しますけれども、縦貫線
から西については、必ず地力のために必要で
あるという認識で、廃止のときに議論をして
いただく。私は、都市計画道路で残せとは言
うておりませんので、その辺、一般的な施策
で対応できるのかどうかということが問題に
なってくるので、要は金ないさかいにとい
うことで切り捨てないで、議論の中に置いと
いてくださいよということですので、その辺の
認識を十分持っていて、対応していただ
くという、これはきつく要望いたしておい
てください。

それから、2点目の病院の診療についての
件でございますが、これは1点目と2点目と
は連動しておりますので、お聞きのように、
十分に考慮されているように思いますので、
その点、くれぐれもよろしくお願ひしてお
きたいと思います。

以上、終わります。

○議長（中西峰雄君）これをもって、16番 中
谷晋君の一般質問は終わりました。

暫時休憩いたします。

(午後 4 時45分 休憩)